

(参考2) 2025年度採択スタートアップ

会社名 [本社所在地・創業年]	プロジェクト概要
(株)バイウィル [東京都中央区・2013年]	<p><b>【カーボンクレジットによる再エネ・省エネ投資の促進】</b></p> <p>小規模な再エネ・省エネ施設<sup>*1</sup>を活用した、家庭や企業等における CO<sub>2</sub>削減量を集約し、クレジット<sup>*2</sup>として地元企業等に提供するとともに、その収益を CO<sub>2</sub>削減者に還元するスキームを構築します。</p> <p>このスキームを広く展開することで、再エネ・省エネ投資を促進し地域の脱炭素を加速します。</p> <p>※1 太陽光発電、蓄電池、LED 照明、高効率空調・ボイラー 等      ※2 CO<sub>2</sub>削減量をクレジットとして国が認証するJクレジット制度を活用</p>
(株)アラジン [東京都渋谷区・2020年]	<p><b>【AIによるごみの分別・運搬ロボットの開発・実装】</b></p> <p>AI を駆使して、ごみを自動で分別し最適なタイミングとルートで指定場所へ運搬するごみ箱型のロボットを開発し、ごみの未分別が課題となっている駅や商業施設などに実装します。</p> <p>このロボットをシンボルとする、公共空間における新たなごみ収集モデルを構築します。</p>
(株)クロスイー [名古屋市千種区・2024年]	<p><b>【CO<sub>2</sub>を排出しない食品残渣等処理システムの実装】</b></p> <p>工場等の未利用排熱と独自に開発した触媒<sup>*</sup>を活用して、CO<sub>2</sub>を排出することなく食品残渣や下水汚泥を処理し、化学原料などにリサイクルするシステムを工場等に実装します。</p> <p>このシステムによって、動植物に由来する廃棄物の処理に伴う CO<sub>2</sub>の排出削減や炭素固定、再生利用を促進します。</p> <p>※ 有機系廃棄物の水分子を取り除く化学反応を手助けする物質</p>
(株)フレンドマイクロープ [名古屋市千種区・2017年]	<p><b>【バイオテックを活用した油脂分解システムの実装】</b></p> <p>工場等の排水に含まれる油を、微生物の働きで効率的に分解・除去するシステムを開発し、中小規模の食品工場や商業施設などに実装します。</p> <p>このシステムの普及を通じ、排水中の油に起因する悪臭や害虫の発生、水質の悪化、グリストラップ<sup>**</sup>の詰まりや逆流といった排水処理の問題を解決します。</p> <p>※ 工場等の排水口と下水道との間に設置されて、排水中の油や残飯、生ごみ等を分離・貯留する施設</p>